

# 物流技術管理士資格認定講座 2018年度結果報告

## ～新たに383名の物流技術管理士が誕生！～

2018年度の物流技術管理士資格認定講座は、2019年3月22日(金)の第133期認定証授与式をもって全日程を終了いたしました。2018年度は、新たに383名の物流技術管理士が誕生し、資格取得者累計は11,280名となりました。ここでは、2018年度に開講した第129～133期の各期にて最も優秀な成績を収められたみなさんの、本講座を受講しての感想をご紹介します。

第129期(2018年5月9日～2018年10月26日:東京開催)

日本出版販売(株) 川本 文一 氏

### 1. 受講目的

出版不況の中で運賃高騰や人員不足などの外部環境の変化を乗り越えていくために、出版流通に閉じた物流知識だけでなく、一般に通用する体系的なロジスティクスの知識習得と外部の人的なネットワークを得たいという希望があり受講しました。



### 2. 本講座を受講して有用だったこと

デザイン・フォー・ロジスティクス (DFL) という考え方を学びました。サプライチェーンの全体最適化を図り、経済的な包装や、輸送に適した製品設計を行うという考え方は、個別の物流機能の改善を突き詰めても改善につながらないような問題を、部門や企業といった壁を越えたロジスティクス志向で俯瞰することで解決思考が生まれてきます。講義を通して物流の各機能に対する知識を広げ、演習で同期の方々とコミュニケーションを取る機会を得られることが当講座の大きな魅力です。自社に閉じた改善の視点から、DFLの切り口でのものごとを捉えられるようになったことは大きな成果であったと感じています。

### 3. 今後の抱負

全国の出版社様と書店様をつなぐ当社の出版流通網を永続的に安定稼働させるためにさらなる効率化を追求するとともに、業務の標準化を志向し、出版に限定されないパートナーシップの構築や他社との業務の協業体制を作っていきたいと考えています。

第130期(2018年6月6日～2018年12月7日:大阪開催)

(株)陽光 濱元 茂伸 氏

### 1. 受講目的

私は物流会社に勤務し、職務としては九州一円を担当する福岡物流センターのセンター長として日々の管理業務を行っています。しかし、まだまだ物流業界の知識不足を感じていたところ、会社より本講座受講の話がありました。諸先輩も過去に数名受講しており、有意義な講座だと話を聞いていたため、積極的に受講することができました。



### 2. 本講座を受講して有用だったこと

ロジスティクスを体系的に学べたことで、新しい知識を得ることができました。レポート作成は、知識の再確認と実践でどのように活用していくかを考えるいい機会になりました。レポートを作成している中で、顧客である荷主側からみるロジスティクスを学ぶことにより、「物流は荷主の立場になって、荷主は物流の立場になって」物流を構築していく必要性があると強く感じました。人不足が深刻な中、物流を効率的に行うには、物流・荷主の両方の視点を持つことが大切だと、グループ討議の中で学ぶことができました。また、本講座で沢山の仲間ができ、人的ネットワークが広がったことも大変有用でした。

### 3. 今後の抱負

今回この講座を受講して、一番大切なことは、習得した知識を現場にて実践することであり、それを実行していくことが今後の私の役割であり、抱負です。

最後に、本講座を長きに渡り、受講させていただ

いた会社、受講中に励まし支えてくれた諸先輩、同僚、部下に深く感謝申し上げます。

第131期 (2018年9月5日～2019年3月8日：名古屋開催)

日本通運(株) 中村 あゆみ 氏

### 1. 受講目的

私は物流企業に所属し、倉庫業務を中心とした提案営業や物流倉庫の業務改善等に携わっております。自身の経験から得た知識のみでは、幅広い顧客ニーズに対応するためには力不足であると日々感じていました。そんな折に本講座を知り、幅広く体系的に物流・ロジスティクスに関して学ぶことで、よりよい提案・改善が行えるのではないかと考え、受講を決めました。



### 2. 本講座を受講して有用だったこと

日々の業務の中では関わる事がなかった物流領域に関して、知識の幅を広げることができました。そのおかげで、例えば今まではあまり意識していなかった輸配送管理や顧客の物流コスト等に考えを巡らせることができるようになり、提案のバリエーションが広がりました。また、今まで聞きかじりだった改善や問題解決の技法等について、改めて学んだことで「業務で使える知識」になり、実際の業務改善にも役立てることができています。

「講座で学んだ知識を組織の中で活用するにはどうしたらよいか」については、グループワークで同期の方から多くを学びました。自社に戻った後もその時の様子を思い出して、打合せの場で参考にしています。

### 3. 今後の抱負

本講座で学んだことを業務の中で実践し、自社のサービスの価値を高めることに繋げていきたいです。また、学んだことは自分の中で止めるのではなく、同僚や後輩にも共有していきたいと考えています。

第132期 (2018年9月12日～2019年3月15日：東京開催)

ヤマトパッキングサービス(株) 今市 憲之 氏

### 1. 受講目的

物流業界に携わる者として、以前より本講座のことは存じ上げており、興味を持っておりました。しかしながら現在まで実務経験に基づいた知識の上書きのみに頼った状態が何年も続いており、近年のロジスティクスを取り巻く環境や考え方を、一度キチンと整理し、体系的に学びたいと思い受講いたしました。



### 2. 本講座を受講して有用だったこと

本講座を受講したことで、特に以下の整理ができたことは助かりました。まずは、現在の自分自身が有している知識、能力において、継続活用できる部分とアップデートが必要な部分が明確になったこと。特に後者においては、アップデートというよりは、バージョンアップしたと思います。

本業として長年やっていると価値または成功事例に対する固定観念というものがあるのが良くも悪くも定着してしまいます。今回、各単元を受講する際、その固定観念を意識して持たないように心掛けました。また、各単元レポート作成時に振り返りを行うことで、多面的な思考及び認識の刷新、知識と技法の修得に繋がっていました。

### 3. 今後の抱負

本講座で受講した内容は、ロジスティクスの現場で即活用できる知識と技法ばかりでした。また、多種多様な業界の方々と意見交換も行え、立場が変わることによるニーズの変化も知ることができました。

これからも、人とモノのさらなる便利に向けたロジスティクスの進化に、少しでも寄与できればと思います。

第133期 (2018年10月3日～2019年3月22日：大阪開催)

㈱リブドゥコーポレーション 藤原 嘉倫 氏

### 1. 受講目的

弊社の輸配送は物流事業者へ委託して運営していますが、昨今の労働力不足による物流業界の変化に対応することが難しく、多くの課題を抱えているのが現状です。このような課題に応じるべく、ロジスティクスやSCMの視点から物事を捉え、考え、行動していくため、本講座を受講することになりました。



### 2. 本講座を受講して有用だったこと

本講座はロジスティクスの知識を学べるだけでなく、最新の情報や業界動向について、様々な講師の方から独自の解釈を交えつつ貴重なお話を伺うこ

とができます。

また、受講者は運送に携わる方が多く、講座内の関わりの中で、普段聞くことができない「生の声」を聞くことができます。このような生きた情報は、各々の立場から見える視点の違いに気付くことができ、異なる視点で考える良い機会となりました。

### 3. 今後の抱負

物流技術管理士の資格を得ることができましたが、まだ知識を得ただけに過ぎません。この知識をどのように活用し行動していくかを考えなければなりません。これを確実に実行しサプライチェーン全体を最適化していくことが、物流技術管理士としての使命であると考えています。

また、本講座の受講に際しては、社内から多くの支援をいただき、深く感謝しております。これから習得した知識を積極的に活用し、会社に貢献することでその恩義に報いていきたいと思っております。

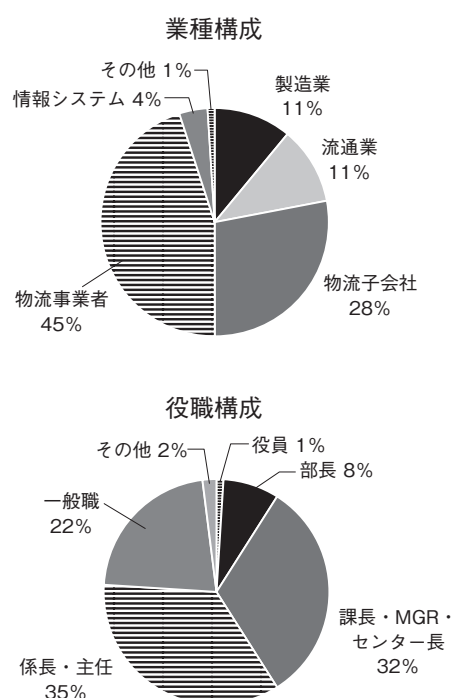
本年度の当講座は東京2期、大阪2期、名古屋1期の計5期開催しております。現在第134期（東京開催）・第135期（大阪開催）が開講中です。現在ご受講中の皆様、物流技術管理士資格取得に向け、最後までがんばってください。

## 2018年度開催報告

### 2018年度開催概況／「物流技術管理士」認定者数

開催期	開催地区	開催期間	認定者数
第129期	東京	2018年5月9日～2018年10月26日	122名
第130期	大阪	2018年6月6日～2018年12月7日	62名
第131期	名古屋	2018年9月5日～2019年3月8日	39名
第132期	東京	2018年9月12日～2019年3月15日	122名
第133期	大阪	2018年10月3日～2019年3月22日	38名

### 2018年度受講者データ



第129期（東京開催）プレミーティング グループ討議の様子